



国際情報学院中だより

No. 04 令和8年7月17日



教育目標：共生の精神をもち、主体的に力強く生きる人間の育成

校訓：明朗 礼節 進取 自律



自分らしく未来を切り拓くために

～田面木氏が大館の中学生に届けたメッセージ～

令和8年7月3日（金）、ほくしか鹿鳴ホールにおいて、水交苑創立50周年記念講演会が開催され、大館市出身で元メルカリCEOの田面木宏尚氏による講演を聴講しました。大館市内の中学生が一堂に会し、自らの将来や生き方について考える貴重な機会となりました。

田面木氏は、「自己肯定感がゼロだった」と自身の学生時代を振り返りながら、それでも人生を楽しみ、自分らしく挑戦し続けることの大切さを、軽快な語り口で伝えてくださいました。実体験を交えたお話は、生徒たちの心を引きつけ、講演後には「とてもおもしろかった」「たくさんのことを学ぶことができた」と話す姿が多く見られました。

講演後、筆者は中学校集会でKJ生へ特に心に留めてほしいことを四つ伝えました。

一つ目は、「自分を信じ、支えてくれる人の存在を大切にしてほしい」ということです。田面木氏は、志望大学への進学が難しいと言われた際も、最後まで自分の可能性を信じ続けてくれた母親の支えがあったからこそ努力を続けることができたと話されました。家族や周囲の人の存在は、自分では気付かない力を与えてくれるものです。

二つ目は、「自分で限界を決めないこと」です。「無理だ」と思った瞬間に可能性は閉ざされてしまいます。自分にはまだ伸びる力があると信じ、挑戦を続けてほしいと思います。

三つ目は、「逆転の発想」です。苦手なことを補おうとするばかりではなく、自分の得意なことや好きなことをさらに伸ばすことで、新たな可能性が広がることがあります。短所と思っていることも、見方を変えれば長所となり、自分らしい強みへと変えていくことができるというメッセージは、多くの生徒の心に残ったことと思います。

そして四つ目は、「集団として高め合うこと」です。田面木氏は、意識の高い集団の中では、一人一人が刺激を受けながら成長できることにも触れていました。しかし、そのような集団をつくるのは誰か一人ではなく、一人一人の意識です。KJをよりよい学校にするのは自分自身なのだという気持ちを持ち、仲間とともに高め合える集団を築いてほしいと願っています。

今回の講演を通して、生徒一人一人がそれぞれの立場で多くの気づきを得ることができました。この学びを、これからの学校生活や将来のキャリア形成につなげ、自分らしい未来を切り拓いていってくれることを期待しています。

生徒の感想（各学年代表1名）

田面木さんのお話を聞いて、「ものさしが違う場所に立っている」という言葉が印象に残りました。私は少し変わっていると言われ、いやな気持ちになったことがあるけれど、誰かはプラスに考えてくれているかもしれないと思うことができました。これからもこの言葉を大切に、「自分らしさ」をみんなに知ってもらえたらうれしいです。

自分は自分のままでいいと背中を押してくれるお話でした。大変なことは抱え込んでしまふことがあるけれど、互いに少しでも弱みを見せることで、もっと相手のことを考えることができると思いました。また、自分を見つめ直すこと・自分の好きなことを深掘りすることいいと思いました。

今日の講演を通して、自分の周りには協力してくれる人や支えになってくれる人がいることの大切さを改めて感じました。また、自分の考え方や物事の見方によって、評価や可能性は大きく変わることを、そして夢中になれることを見つける大切さも学びました。今日のお話をこれからの進路選択に生かし、自分らしい道を見つけていきたいと思っています。



最後まで諦めない、その姿に感動

～全県総体・通信陸上で見せたKJ魂（スピリット）～

令和8年7月11日（土）、12日（日）の二日間、秋田市を会場に秋田県中学校総合体育大会が開催され、本校からは男女バスケットボール部と水泳部が出場しました。県大会という大舞台でも、選手たちは最後まで全力で競技に臨み、KJ生らしい堂々とした姿を見せてくれました。

女子バスケットボール部は、1回戦で秋大附属中学校と対戦しました。前半はリードを許す苦しい展開となりましたが、後半に怒涛の追い上げを見せ、60対55で見事勝利を収めました。続く2回戦では三種中学校と対戦し、一時は点差を広げられましたが、最後まで諦めることなく粘り強く戦い抜きました。残り3分からの追い上げは会場全体を魅了し、惜しくも1点差で敗れたものの、選手たちのひたむきな姿は多くの人に残る試合となりました。

男子バスケットボール部は、大館東中学校との合同チームとして出場しました。合同チームならではの移動や練習時間の確保など、多くの困難を乗り越えながら迎えた県大会。1回戦では桜中学校を相手に大きくリードされる時間帯もありましたが、最後まで粘り強く戦い、4点差まで追い上げる見事な試合を展開しました。仲間を信じ、最後の一秒まで戦い抜く姿に大きな感動をもらいました。

水泳競技では出場した3名全員が決勝へ進出しました。自己ベスト更新には届かなかったものの、これまで積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮し、それぞれがこの日のベストパフォーマンスを見せてくれ、2名が東北大会出場を決めました。

また、全県総体に先立って開催された第72回全日本中学校通信陸上競技大会秋田県大会では、3年男子100mに出場した石田 誉崇さんが、自己ベストを大きく更新する走りを見せ、見事第2位に輝きました。日頃の努力が実を結んだ快挙であり、今後のさらなる活躍が期待されます。

勝敗はつきましたが、最後まで諦めず挑戦し続けた経験は、これからの人生において大きな財産になることでしょう。現在、陸上競技部は全県大会、そして水泳部は東北大会、吹奏楽部は全県吹奏楽コンクールへ向けて準備を進めています。KJ生のさらなる活躍を、全校生徒・教職員一同、心から応援しています。

第72回全日本中学校通信陸上競技大会秋田県大会
3年100m 2位 石田 誉崇さん

第75回秋田県中学校総合体育大会 水泳競技

男子 400m自由形	5位	高橋 夢羽さん
男子1500m自由形	4位	高橋 夢羽さん（東北出場）
男子 100m背泳ぎ	2位	田嶋 悠晟さん（東北出場）
男子 200m背泳ぎ	4位	田嶋 悠晟さん（東北出場）



第75回秋田県中学校総合体育大会 バスケットボール競技

【女子】

大館国際情報学院中学校	○60	—	55	秋田大学教育文化学部附属中学校
大館国際情報学院中学校	46	—	47○	三種中学校

【男子】

東中・国際情報学院中	60	—	64○	桜中学校
------------	----	---	-----	------

感謝

1学期は、体育祭、台湾・三民国民中学校との国際交流、大北総体など、多くの行事がありました。KJ生は持ち前の明るさとひたむきさで一つ一つの行事に全力で取り組み、多くの感動を届けてくれました。その姿は、KJ生の大きな魅力であると感じています。

保護者の皆様におかれましては、各行事へのご協力に加え、クマ出没時の急な送迎などにも快くご対応いただき、心より感謝申し上げます。生徒たちが安心・安全で充実した学校生活を送ることができるのは、保護者の皆様の温かいご理解とご協力があってこそです。

2学期も、学校と家庭が力を合わせ、生徒一人一人の成長を支えてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。